

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

謹賀新年



輝かし
い新年を
お迎えの
ことと、心よりお喜び申し
上げます。

さまざまな物価が高騰し、国民の生活を脅かしています。これは、ロシアのウクライナへの侵攻が引き金になっていますが、極端な田安の影響も大きく、

人への投資で人口減少を食い止め
住み続けられる地域を!



この田安については、政治の責任として国がしっかりとした対策を取る必要があるのです。

政治の原点は地方

私たちの住む地方は、人口減少に苦しんでいます。その結果、今まで住んでいる地域に住み続けることができなくなるのではといった心配の声も寄せられています。人口が減少すると、医療や福祉、交通などの暮らしを支える基盤が崩壊し、働き手不足によって、さらに

人口減少が加速します。早急に少子化や人口減少に対する更なる対策が必要であり、そのためには人への投資を増やし、安心して子供を生み育てられる環境と、暮らし続けることができる地域づくりが求められています。

国民生活より防衛?

岸田政権は、今後5年間で防衛費を43兆円に増やし、5年後にはGDP比2%の年間約11兆円に倍増することを決め、その財源には、復興税の一部を充て、たばこ税や法人税を増税するとしています。

いま、私たち国民の暮らしは、さまざま物価が高騰し、一方で賃金や年金が上がり、暮らしは厳しくなるばかりです。このような時こそ、政治が国民の生活を守るための対策を取る必要があるのです。

農家の努力も限界

とりわけ、農家は厳しい

11013年
夢つむぐ



を通り越し、崩壊寸前と言っても過言ではありません。先人が苦労して原野を開拓した時以来の厳しい状況に追い込まれていると感じています。

農家の皆さんも、コストを削減するため、さまざま努力をしていますが、それも限界なのです。農家を守る仕組みを早急に創らなければ、日本の農業は崩壊し、すべての食料を外国に依存するといった事になるかも知れないのです。

たくましい北海道を

北海道は、可能性豊かな地域です。道民の知恵と工夫を組み合わせることで、もっとたくましい地域に飛躍できると確信し、人を大切にし、一人ひとりの発想や想いを受け止め、しっかりと頑張る決意です。

第4回定例道議会報告(11月29日~12月15日)

第4回定例道議会は、11月29日(火)に開会。開会日冒頭に118億円の一般会計補正予算案を提案。さらに、国の補正予算に対応した形で、12月6日に174.778億円の追加補正予算案が提出されました。

主な事業として、23年1

令和4年度 補正予算額		単位：千円	
	一般会計	特別会計	合計
既決予算	3,320,562,304	1,045,550,984	4,366,113,288
4定補正議決額	186,634,450	0	186,634,450
冒頭提案額	11,855,957	0	11,855,957
追加提案額	174,778,493	0	174,778,493
合計	3,507,196,754	1,045,550,984	4,552,747,738

月以降の旅行商品の割引支援や人手不足が深刻な業種への支援金の支給など経済対策に238億円、21年に発生した赤潮被害を受けた漁場の回復などに3億3400万円を計上しました。

第4回定例会での一般会計補正予算額の合計は、1866億円となり、原案どおり可決。これにより、令和4年度一般会計は、総額3兆5071億9600万円となりました。

不誠実な知事答弁

会派の代表格質問では、知事の政治姿勢の中で、令和4年度の政策評価結果に対する認識を質問しましたが、「遅れている施策」に対する理由や今後の取組については触れず、実に不誠実な答弁だったので。すべての責任を国に転嫁することは簡単ですが、そ

れでは道民の生命と財産は守れません。知事はまずそのことに気づく必要があります。

また、情報発信については「皆様の声をしっかりと受け止め、丁寧な情報発信を行い、道民本位の道政運営に取り組み」と繰り返しの答弁に終始し、こうした答弁自体が道民の気持ちに寄り添っていない証拠なのです。

さらに、「コロナ対策」にしても、「物価高騰対策」にしても、国の指示を漫然と待つ姿勢は、言葉とは裏腹に「道民本位」とは言い難く、リーダーとしての資質に欠けるといっても過言ではありません。

議決された主な補正

- ▼ゼロカーボン北海道普及促進事業費(新規)4億円
- ▼道内事業者事業継続緊急支援金支給事業費(追加)15億8千万円
- ▼人材確保緊急支援事業費(新規)2億万円
- ▼北海道旅行割引事業費

決算特別委員会質問

11月7日から11日までの日程で、令和3年度決算特別委員会において北口道議は、建設部所管事項では「河川の維持管理及び樋門の管理のあり方」、水産林務部では「森林環境譲与税及び道産木材の利用拡大」、農政部では「有機農業の推進」について質問しました。



充を求める意見書◆食料安全保障を担う持続可能な北海道酪農畜産の支援に関する意見書

【ユウキ】

▼物価高騰と「コロナ」による消費減退により、農業が大変な状況だ。皆さんからは「先行きが全く見通せない」と不安の声が多く寄せられている▼その中でも特に大変なのが酪農だ。飼料や燃料、電気などの値上がりにより、「事業を続けられれば続けるほど赤字が膨れる」と、悲痛な声であふれている▼これを受けホクレンは、1kg当たり10円を昨年11月から引き上げることをしたが、北海道の場合約8割が加工に回されるので、実質の値上げは約2円▼昨年暮れに、令和5年度の加工原料乳生産者補給金単価が11円34銭に改定されたが、引上げ額は49銭。酪農家を馬鹿にしたような金額で呆れるのは、私だけではないだろう。(ゆきこ)